

第 37 回 ESVS Annual Meeting 参加レポート

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科 和田陽之介

この度、第 51 回日本血管外科学会（JSVS）学術総会において最優秀賞を受賞した副賞として、第 37 回欧州血管外科学会（ESVS）Annual meeting に参加させていただきました。JSVS から演題の推薦と参加支援をいただき、このような大変貴重な機会と代え難い経験をさせていただきましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

第 37 回欧州血管外科学会（ESVS）Annual meeting は北アイルランド ベルファストの International Convention Centre において 9 月 26 日から 29 日の期間に開催されました。日本から会場までは羽田国際空港、ドーハ・ハマド国際空港、バーミンガム空港、ジョージ・ベスト・ベルファスト・シティ空港と 2 回の乗り継ぎで約 25 時間の移動でした。ベルファストは湾岸部にある北アイルランドの首都で、ヴィクトリア時代の名残が残る美しい街並みと歴史的建造物、豊かな自然に恵まれた見どころの多い都市です。

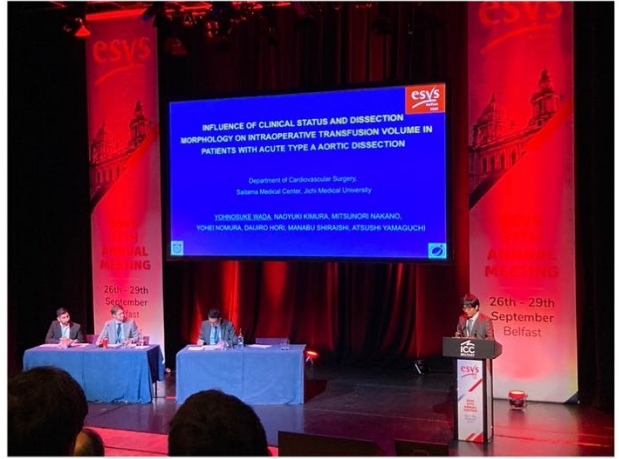
今回私は E S V S の Fast track session DTA/Aortic Dissection/Aortic Arch で口頭発表をさせていただきました。発表は 4 分で質疑応答は 2 分で、題材に関しましては当センターにおける急性 A 型解離症例の手術実施症例の出血傾向と輸血治療に関して解析した

「Influence of clinical status and morphology on intraoperative transfusion volume in patients with acute type A aortic dissection」を発表させていただきました。ヨーロッパの国々だけでなく、アメリカ、中国、インドネシアの先生方を含め世界各国から選ばれた演者の皆様に混ざり、研究発表をすることができ大変光栄でありました。自身のプレゼンテーション力の改善の必要性をひしひしと痛感しつつ、多くの著名な先生方の国際学会でのプレゼンテーション方法を間近に堪能することができ、国際学会での研究発表様式を学ぶことができました。血管外科分野の最新の研究や今後注目されているトピックについて直接学べる機会を得たことも有意義でした。そして、関西医科大学総合医療センター教授 駒井宏好先生のお声がけで開催された食事会に参加させていただき、ESVS に参加された日本の先生方と意見交換することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

最後になりますが、このような貴重な機会を賜りました JSVS 運営に関わる先生方及び会員の皆様方、日々ご指導をいただいております山口敦司教授、木村直行教授、そして自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科 医局の皆様がこの場をお借りして深く感謝申し上げます、E S V S annual meeting の参加報告とさせていただきます。今回の経験を、今後の診療・研究活動に役立てていきたいと思っております。



現地会場風景



発表風景



懇親会と街の風景